

令和 8 年度（2026 年度）熊本県農福連携技術支援者育成研修開催要領

1 目 的

高齢化や少子化等により農業の担い手は減少傾向にあり、人材確保は喫緊の課題となっています。

そこで、県では農業現場における人材確保と、障がい者の就労場所の確保を目的に農福連携の取組みを推進しています。

しかし、農業現場においては障がい者に対する理解不足から受け入れに消極的な声があるほか、福祉の現場においても、農作業への不安や安全面での懸念が根強いなど、さまざまな課題が存在しています。

このような課題に対応するため、農福連携を現場で実践する手法をアドバイス・指導できる専門人材を育成することを目的とし、本研修を開催します。

2 主 催 熊本県（熊本県農林水産部生産経営局担い手支援課）

3 実施方法 オンライン及び集合型（オンライン計 18.5 時間、集合 4 日間）

4 日時及び場所

（1）ガイダンス

日時：11 月 9 日（月）13：30～15：00

（2）第 1 講座（e-learning）

日時：令和 8 年（2026 年）11 月 9 日（月）～11 月 27 日（金）

場所：各自受講

（3）第 2 講座（集合研修）

日時：令和 8 年（2026 年）12 月 14 日（月）～12 月 17 日（木）

会場：【座学】熊本県立農業大学校（14 日）

熊本県農業研究センター（15 日～17 日）

【実地】一般社団法人まんしん未来・就労継続支援 B 型まんしん未来
株式会社ピアサポート 就労継続支援 A 型事業所ぴあすまいる

5 参加対象者

農福連携の支援に関わっている者、又はこれから関わろうとする者

（農業者、各農業協同組合、熊本県経済農業協同組合連合会、熊本県農業協同組合中央会、福祉事業所、市町村、地域振興局農業普及・振興課 等）

※定員 20 名程度

6 研修内容

【第 1 講座】

期間内に Web にて動画を各自視聴

【内容】①農福連携の概論に関すること、②社会福祉や障がい者雇用・障がい福祉サービス事業等に関すること、③農業や農業経営に関すること、④確認テスト

【第 2 講座】

① 12 月 14 日（月）9：00～17：00

【内容】農作業における作業細分化・難易度評価・作業割り当ての技法

【講師】株式会社ふくしごと

【監修】西日本短期大学緑地環境学科准教授/人間・植物関係学会理事
山本俊光氏

② 12月15日（火）9：00～16：00

【内容】

- 1 農作業における作業細分化・難易度評価・作業割り当ての技法
- 2 農福連携技術者の役割と実践事例

【講師】

- 1 株式会社ふくしごと
- 2 動画視聴等

【監修】

- 1 西日本短期大学緑地環境学科准教授/人間・植物関係学会理事
山本俊光氏

③ 12月16日（水）9：30～16：00

【内容】障がい特性に対応した農作業支援技法

【実地研修】一般社団法人まんしん未来・就労継続支援B型まんしん未来

【講師】工藤 満雄 氏

④ 12月17日（木）9：00～17：00

【内容】障がい福祉サービス事業の運営の実務

【実地研修】株式会社ピアサポート 就労継続支援A型事業所ぴあすまいる

【講師】山部 三千代 氏

※最終日（17日）は15：30～17：00で修了試験を実施。

7 修了証の交付

全ての講義を受講し、修了試験を合格した方には研修修了証を交付します。

8 その他

研修修了者として認定された者の住所・連絡先等は国や県の農福連携担当部局と共有いたします。また、必要に応じて市町村の農福連携担当部局にも共有する場合があります。